

授業科目名・形態	介護の基本Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	工藤 智美	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

地域包括ケアシステムの構築や介護予防が必要とされる我が国の今日的課題を明らかにし、多様化・複雑化する介護ニーズにより変化・拡大している介護福祉士の役割と機能について理解する。また、介護の基本Ⅰで学んだ介護福祉の基本理念を基盤として、普遍的倫理判断の視点や養成教育の変遷等を通して、介護福祉の専門職としての態度を養う学習とする。

【到達目標】

- 1) 介護福祉を取り巻く我が国の今日的課題や多様化・複雑化する介護ニーズを捉え、介護福祉士に求められる役割と専門性を理解する。
- 2) 倫理的な介護実践について事例をもとに検証し、介護福祉の専門職としての態度と倫理性を養う。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護福祉士の活動の場と役割①：地域包括ケアシステム
- 第2回 介護福祉士の活動の場と役割②：介護予防・医療的ケア
- 第3回 介護福祉士の活動の場と役割③：人生の最終段階の支援・災害時の支援
- 第4回 社会福祉士及び介護福祉士法・関連する諸規定
- 第5回 介護福祉士養成カリキュラム①：養成教育の始まり・期待される介護福祉士像
- 第6回 介護福祉士養成カリキュラム②：チームリーダーとしての介護福祉士
- 第7回 介護福祉士を支える団体①：日本介護福祉士会ほか
- 第8回 介護福祉士を支える団体②：日本介護福祉学会ほか
- 第9回 介護福祉士の倫理①：介護福祉士の職業倫理
- 第10回 介護福祉士の倫理②：普遍的倫理判断の視点・倫理的介護実践
- 第11回 介護福祉士の倫理③：尊厳ある介護実践
- 第12回 介護福祉士の倫理④：プライバシーの保護と介護の倫理
- 第13回 介護福祉士の倫理⑤：高齢者虐待と生命倫理
- 第14回 倫理的判断に必要な場面における介護福祉士の対応
- 第15回 日本介護福祉士会の倫理綱領

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行うが、事例検討ではグループワーク等を実施する。

【授業準備】

講義内容を踏まえ復習を行い、厚労省や関係団体のホームページ、参考文献等を用いて確認すること。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術演習

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座3 介護の基本Ⅰ 中央法規出版（株）

【参考文献】

- ・筒井孝子, 地域包括ケアシステム構築のためのマネジメント戦略, 中央法規出版（株）

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

地域包括支援センター等において地域で暮らす高齢者とその家族への支援に携わってきた経験と、特養の管理職として施設職員の人材育成等に関わってきた経験を活かし、地域や介護現場における実践事例を織り交ぜながら、学生が具体的なイメージを持って介護福祉士の役割や倫理的介護実践について理解を深められるようにしたい。

【学生へのメッセージ】

日頃から高齢者や介護福祉に関する内容や問題に関心を持ち、授業中も自分の考えや疑問点などを積極的に発言していきましょう。